

かわさき市民アンケート

報 告 書

平成 19 年 3 月

川 崎 市

目 次

I	調査概要	1
II	調査回答者の属性	5
	1 第1回アンケートの回答者	7
	2 第2回アンケートの回答者	11
III	調査結果	15
①	第1回アンケートの結果	17
1	健康に関する意識（実態）について	19
1-1	健診や人間ドックの受診経験	19
1-2	健診や人間ドックでの指摘の有無	21
1-3	検診や人間ドックでの指摘の内容	23
1-4	保健指導の有無	25
1-5	保健指導内容の実施状況	27
1-6	医療機関の受診勧告の有無	29
1-7	医療機関の受診状況	31
1-8	内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知状況	33
1-9	がん検診の受診状況	35
1-10	がん検診の受診の機会	37
1-11	がん検診を受診しない理由	39
1-12	「食育」の認知状況	41
1-13	「食育」への関心の有無	43
1-14	「食育」に関心がある理由	45
1-15	「食育」に関する活動や行動	47
1-16	「食育」に関する活動や行動をしていない理由	49
1-17	「食事バランスガイド」の認知状況	51
1-18	「食事バランスガイド」を見た場所・媒体	53
1-19	「食事バランスガイド」の参考状況	55

2	地域福祉について	57
2-1	隣近所との付き合い	57
2-2	近所付き合いや地域住民同士の交流の必要性	60
2-3	隣人への手助け等の経験・してもらいたいこと	63
2-4	家庭生活における不安	66
2-5	心配ごとを解決するために必要なこと	68
2-6	心配なことが起きたときの相談先	70
2-7	必要な支援を行うべき担い手	72
2-8	保健福祉に関するボランティアの活動経験	74
2-9	保健福祉に関するボランティア活動に参加した動機やきっかけ	77
2-10	保健福祉に関するボランティア活動に参加したことがない理由	80
3	ごみに関する意識について	82
3-1	ごみの減量やリサイクルについて家庭で取り組んでいること	82
3-2	生ごみのリサイクルを实践することへの興味	85
3-3	生ごみ処理機を購入してもよい金額	87
3-4	生ごみのリサイクルを实践するのが難しい理由	88
3-5	生ごみリサイクルモデル事業への協力意向	89
3-6	資源集団回収の実施状況	91
3-7	資源集団回収に出している理由	93
3-8	資源集団回収を利用しない理由	94
3-9	古布のリサイクルを推進するために協力できること	95
3-10	3Rの施策を推進するための取組み	96
4	道路について	98
4-1	道路利用時の交通手段	98
4-2	「道路の機能（役割）の向上」について	101
4-3	「ある2地点間の移動のしやすさの向上」について	104
4-4	「ある地点への移動のしやすさの向上」について	107
4-5	「道路整備の方針」について	110
4-6	「道路渋滞の解消方法」について	113
4-7	「沿道環境の向上」について	116
4-8	「道路の使いやすさ」について	119
4-9	「道路整備の手段・方法」について	122

② 第2回アンケートの結果	125
(1～4については、昭和60年度から継続して実施)	
1 定住状況について	127
1-1 居住年数	127
1-2 定住意向	129
1-3 転居意向の理由	132
1-4 転居先の希望	134
2 生活環境の評価について	137
2-1 生活環境の満足度	137
2-2 総合的な生活環境の満足度	148
3 関心ごとと行動範囲について	152
3-1 関心を持っていること	152
3-2 行動範囲	155
4 市政に対する評価と要望について	160
4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと	160
4-2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと	164
4-3 施策や事業の総合的な満足度	168
5 川崎市の広域拠点のイメージについて	171
5-1 広域拠点のイメージ	171
6 安全・安心のまちづくりについて	179
6-1 地域の治安状況の変化	179
6-2 地域の今後の治安状況	182
6-3 地域の防犯パトロールの参加状況	185
6-4 地域の防犯パトロールへの参加意向	188
6-5 安全なまちづくりに効果的な取組み	191
6-6 子供の安全を守るために効果的な取組み	194
6-7 路上喫煙防止条例の施行の認知状況	197
7 選挙について	200
7-1 統一地方選挙と参議院議員通常選挙の認知状況	200
7-2 2つの選挙の情報源として効果的なもの	203
7-3 2つの選挙への投票意向	205
7-4 投票しない理由	208
7-5 期日前投票・不在者投票制度の認知状況	210
7-6 期日前投票・不在者投票制度の利用状況	213
7-7 期日前投票・不在者投票制度への意見	215

8	救急車利用について	216
8-1	119番通報の利用経験	216
8-2	救急車の平均到着時間について	218
8-3	かかりつけの病院、急病・緊急時の病院の有無	219
8-4	急病・緊急時の病院の利用方法	222
8-5	救急車の適正利用について	224
9	火災予防について	226
9-1	放火防止対策	226
9-2	住宅の建築時期	228
9-3	住宅用火災警報器の設置義務化の認知状況	229
9-4	住宅用火災警報器または自動火災報知設備の設置状況	231
9-5	住宅用火災警報器の設置意向	232
10	コミュニティビジネスについて	234
10-1	コミュニティビジネスの認知状況	234
10-2	身の回りにおいて解決すべき、実施すべき地域課題の有無	236
10-3	地域課題についての取組みの活動参加意向	239
10-4	地域課題の解決を図る主体としてふさわしいと思うもの	242
10-5	地域課題の解決にかかる費用の負担について	245
10-6	コミュニティビジネスの起業意向	248
11	川崎市職員について	251
11-1	市職員との接触有無	251
11-2	市職員との接触場所	254
11-3	市職員による市民対応等について	256
11-4	市職員あるいは職員の仕事ぶりの印象	258
11-5	市職員に求めること	260
IV	調査票	263

I 調査概要

1. 調査の目的

「かわさき市民アンケート」は、昭和 50 年度から毎年 1 回 1,500 人を対象として行っていた「市民意識実態調査」を、より多くのテーマ、より多くの対象に調査するため、調査回数を年 2 回、各回 3,000 人の市民を対象にした調査に拡充し、名称も新たに平成 18 年度から実施することとしたものである。

昭和 50 年度から継続的に行ってきた市民の定住状況、生活環境の評価、市政に対する評価と要望等に加えて、市民生活に関するいくつかのテーマなどについて、市民の生活意識や行政に対する意識を調査し、市政運営や政策立案の参考資料とすることを目的として実施した。

2. 調査の方法

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査の地域 | 川崎市全域 |
| (2) 調査の対象者 | 川崎市在住の満 20 歳以上の男女個人 |
| (3) 標本の抽出 | 住民基本台帳および外国人登録原票からの層化二段無作為抽出 |
| (4) 標本数 | 第 1 回 3,000 標本（平成 18 年 7 月抽出）
第 2 回 3,000 標本（平成 18 年 11 月抽出） |
| (5) 調査方法 | 郵送法（郵送配布－郵送回収・はがき督促を 1 回） |
| (6) 調査期間 | 第 1 回 平成 18 年 8 月 8 日（火）～8 月 25 日（金）
第 2 回 平成 18 年 11 月 17 日（金）～12 月 1 日（金） |
| (7) 調査委託機関 | 株式会社 サーベイリサーチセンター |

3. 調査項目

◎ 第 1 回

＜調査テーマ＞	＜問番号＞
(1) 健康に関する意識（実態）について (2) 地域福祉について (3) ごみに関する意識について (4) 道路について	(問 1～問 7－(2)) (問 8～問 15－(2)) (問 16～問 21) (問 22～問 30)

◎ 第 2 回

＜調査テーマ＞	＜問番号＞
(1) 定住状況について (2) 生活環境の評価について (3) 関心ごとと行動範囲について (4) 市政に対する評価と要望について (5) 川崎市の広域拠点のイメージについて (6) 安全・安心のまちづくりについて (7) 選挙について (8) 救急車利用について (9) 火災予防について (10) コミュニティビジネスについて (11) 川崎市職員について	(問 1～問 2－(2)) (問 3～問 4) (問 5～問 6) (問 7～問 9) (問 10) (問 11～問 16) (問 17～問 20－(2)) (問 21～問 25) (問 26～問 29－(1)) (問 30～問 35) (問 36～問 39)

4. 回収状況

	第1回	第2回
(1) 標本数	3,000 標本	3,000 標本
(2) 有効回収数	1,388 人	1,270 人
(3) 有効回収率	46.3%	42.3%

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

6. 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\left\{ \begin{array}{l} N = \text{母集団数（川崎市の20歳以上人口）} \\ n = \text{比率算出の基数（回答者数）} \\ p = \text{回答の比率（\%）} \end{array} \right.$

今回の調査結果の標本誤差は下記ようになる。

回答比率（p） n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,388	±2.28%	±3.04%	±3.48%	±3.72%	±3.80%
1,270	±2.38%	±3.17%	±3.64%	±3.89%	±3.97%
1,000	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
700	±3.21%	±4.28%	±4.90%	±5.24%	±5.35%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注／この表の見方

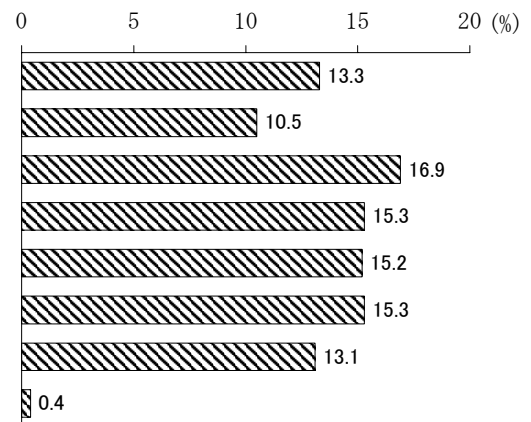
標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が1,270人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.89%以内（56.11～63.89%）である」とみることができる。

Ⅱ 調査回答者の属性

1 第1回アンケートの回答者

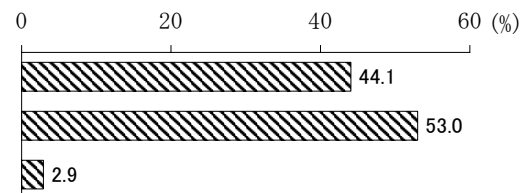
1 居住区

	基 数	構成比 (%)
1 川崎区	184	13.3
2 幸区	146	10.5
3 中原区	234	16.9
4 高津区	212	15.3
5 宮前区	211	15.2
6 多摩区	213	15.3
7 麻生区	182	13.1
(無回答)	6	0.4
合 計	1,388	100.0



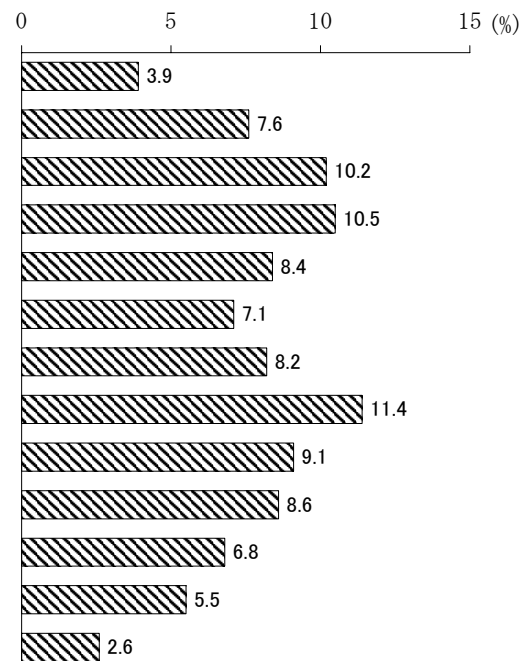
2 性別

	基 数	構成比 (%)
1 男性	612	44.1
2 女性	736	53.0
(無回答)	40	2.9
合 計	1,388	100.0



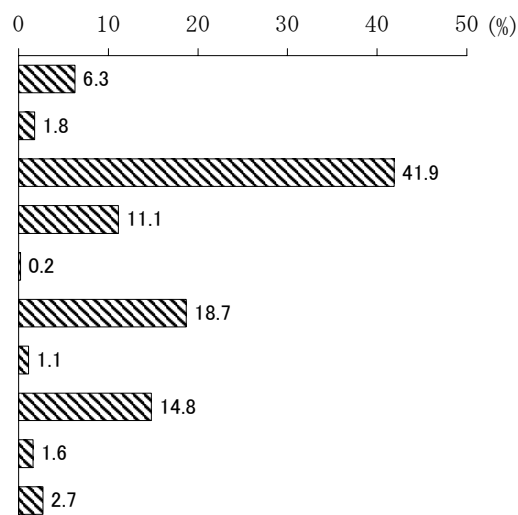
3 年齢

	基 数	構成比 (%)
1 20～24 歳	54	3.9
2 25～29 歳	106	7.6
3 30～34 歳	142	10.2
4 35～39 歳	146	10.5
5 40～44 歳	116	8.4
6 45～49 歳	98	7.1
7 50～54 歳	114	8.2
8 55～59 歳	158	11.4
9 60～64 歳	127	9.1
10 65～69 歳	120	8.6
11 70～74 歳	94	6.8
12 75 歳以上	77	5.5
(無回答)	36	2.6
合 計	1,388	100.0



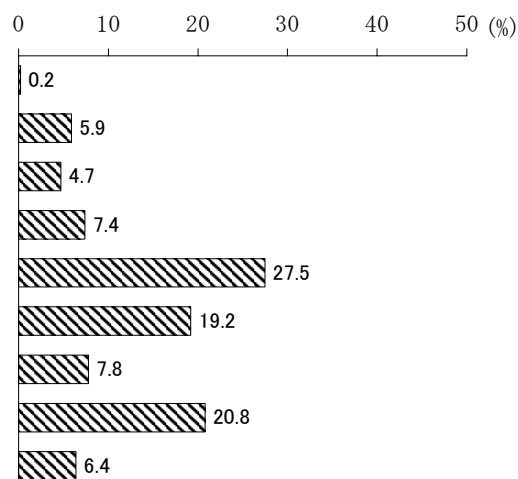
4 職業

	基 数	構成比 (%)
1 自営業主	87	6.3
2 家族従業（家業手伝い）	25	1.8
3 勤め（全日）	581	41.9
4 勤め（パートタイム）	154	11.1
5 内職	3	0.2
6 主婦・主夫（家事専業）	259	18.7
7 学生	15	1.1
8 無職（年金生活者を含む）	205	14.8
9 その他	22	1.6
（無回答）	37	2.7
合 計	1,388	100.0



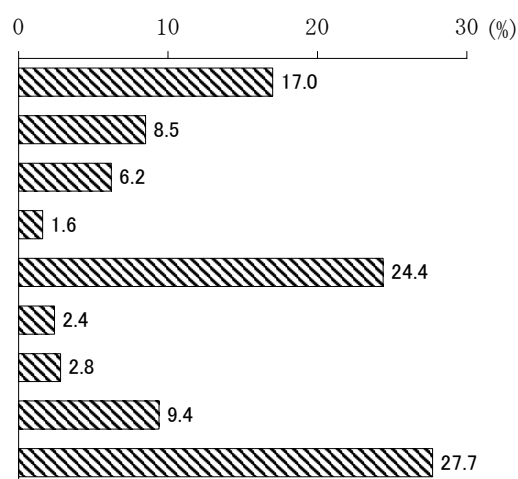
5 具体的な職業内容

	基 数	構成比 (%)
家族従業・ 自営業主	1 農林漁業	2 0.2
	2 商工サービス業	50 5.9
	3 自由業	40 4.7
勤め（全日・パート） ・内職の方	4 経営・管理職	63 7.4
	5 専門・技術職	233 27.5
	6 事務職	163 19.2
	7 技能・労務職	66 7.8
	8 販売・サービス職	176 20.8
	（無回答）	54 6.4
合 計	847	100.0



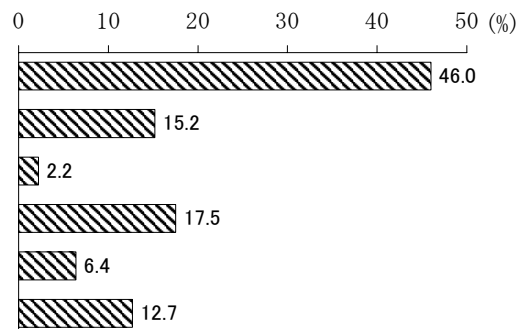
6 勤務先・通学先

	基 数	構成比 (%)
1 川崎市内（お住まいと同じ区）	236	17.0
2 川崎市内（お住まいと別の区）	118	8.5
3 横浜市	86	6.2
4 神奈川県内（川崎市・横浜市以外）	22	1.6
5 東京都（23区内）	339	24.4
6 東京都（23区以外）	34	2.4
7 その他	39	2.8
8 通勤・通学していない	130	9.4
（無回答）	384	27.7
合 計	1,388	100.0



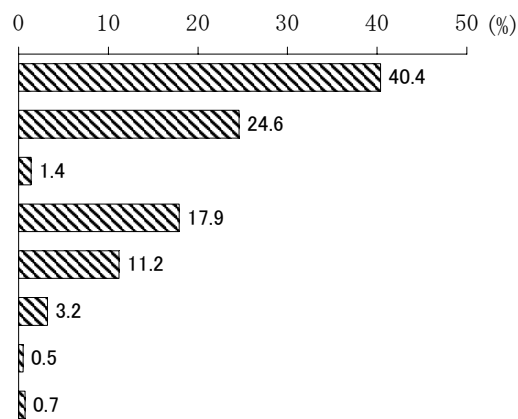
7 駅までの交通手段

	基 数	構成比 (%)
1 徒歩	639	46.0
2 自転車	211	15.2
3 バイク（原付含む）	30	2.2
4 バス	243	17.5
5 自動車（送迎含む）	89	6.4
（無回答）	176	12.7
合 計	1,388	100.0



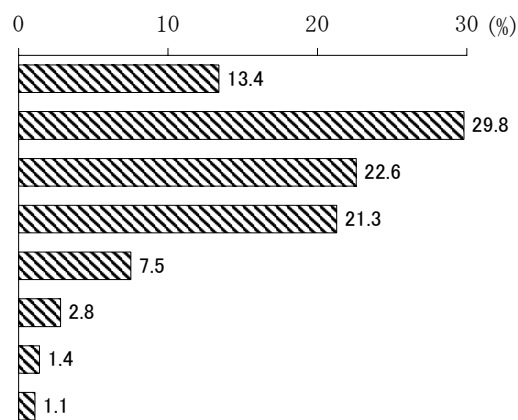
8 住居形態

	基 数	構成比 (%)
1 持ち家（一戸建）	561	40.4
2 持ち家（マンション・団地）	342	24.6
3 借家（一戸建）	20	1.4
4 借家（マンション・団地・公営住宅）	248	17.9
5 借家（民間アパート・間借・下宿）	156	11.2
6 社宅・寮・公務員住宅	44	3.2
7 その他	7	0.5
（無回答）	10	0.7
合 計	1,388	100.0



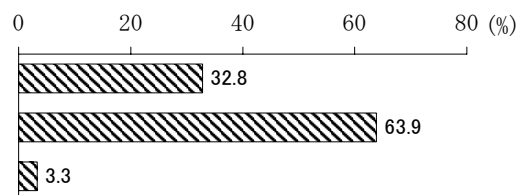
9 家族構成

	基 数	構成比 (%)
1 1人	186	13.4
2 2人	414	29.8
3 3人	314	22.6
4 4人	296	21.3
5 5人	104	7.5
6 6人	39	2.8
7 7人以上	20	1.4
（無回答）	15	1.1
合 計	1,388	100.0



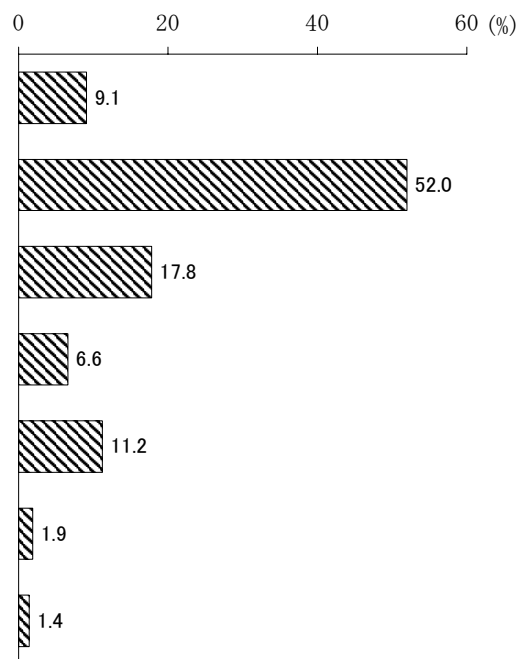
10 65 歳以上の方との同居

	基 数	構成比 (%)
1 いる	455	32.8
2 いない	887	63.9
(無回答)	46	3.3
合 計	1,388	100.0



11 地域環境

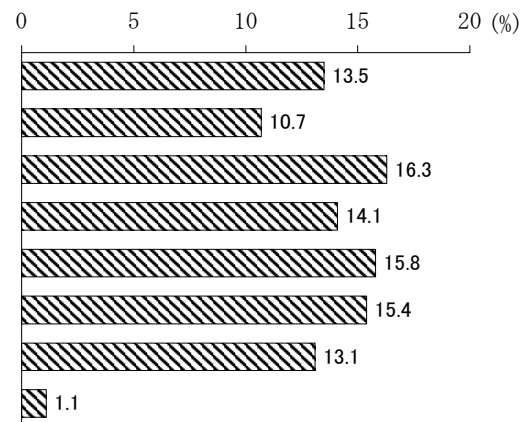
	基 数	構成比 (%)
1 オフィスビル、商業ビル、商店などがある地域	126	9.1
2 古くからの住宅が中心となっている地域	722	52.0
3 新しく開発された住宅地域	247	17.8
4 住宅と工場が混在している地域	91	6.6
5 まわりに田畑や山林などの森が残されている地域	156	11.2
6 その他	26	1.9
(無回答)	20	1.4
合 計	1,388	100.0



2 第2回アンケートの回答者

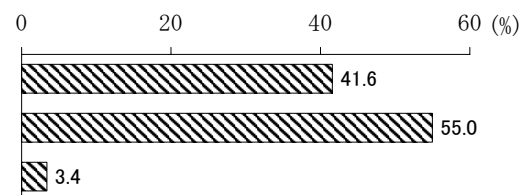
1 居住区

	基 数	構成比 (%)
1 川崎区	171	13.5
2 幸区	136	10.7
3 中原区	207	16.3
4 高津区	179	14.1
5 宮前区	201	15.8
6 多摩区	195	15.4
7 麻生区	167	13.1
(無回答)	14	1.1
合 計	1,270	100.0



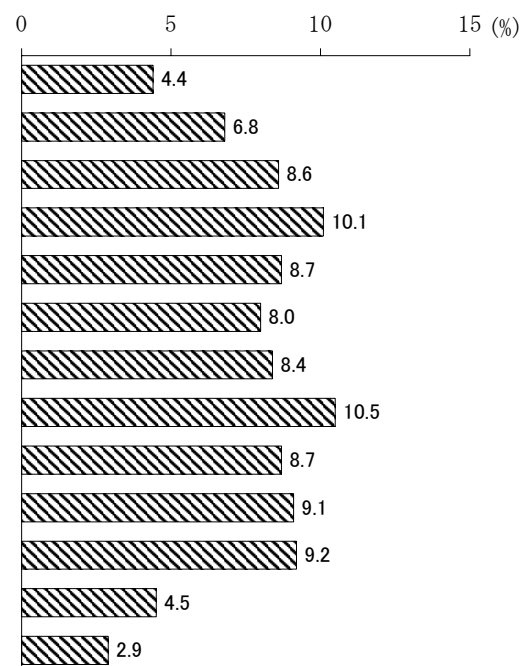
2 性別

	基 数	構成比 (%)
1 男性	528	41.6
2 女性	699	55.0
(無回答)	43	3.4
合 計	1,270	100.0



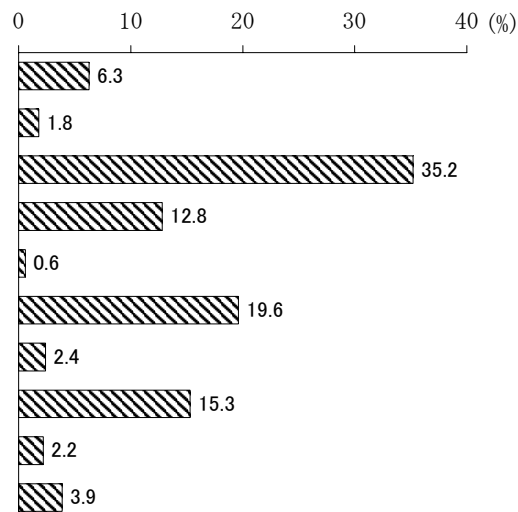
3 年齢

	基 数	構成比 (%)
1 20～24 歳	56	4.4
2 25～29 歳	86	6.8
3 30～34 歳	109	8.6
4 35～39 歳	128	10.1
5 40～44 歳	111	8.7
6 45～49 歳	102	8.0
7 50～54 歳	107	8.4
8 55～59 歳	133	10.5
9 60～64 歳	111	8.7
10 65～69 歳	116	9.1
11 70～74 歳	117	9.2
12 75 歳以上	57	4.5
(無回答)	37	2.9
合 計	1,270	100.0



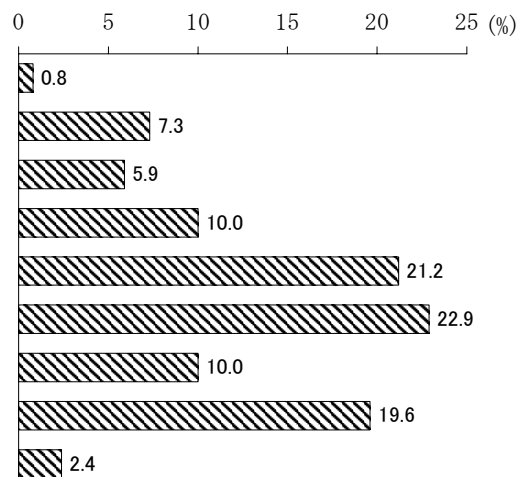
4 職業

	基 数	構成比 (%)
1 自営業主	80	6.3
2 家族従業（家業手伝い）	23	1.8
3 勤め（全日）	447	35.2
4 勤め（パートタイム）	163	12.8
5 内職	7	0.6
6 主婦・主夫（家事専業）	249	19.6
7 学生	30	2.4
8 無職（年金生活者を含む）	194	15.3
9 その他	28	2.2
（無回答）	49	3.9
合 計	1,270	100.0



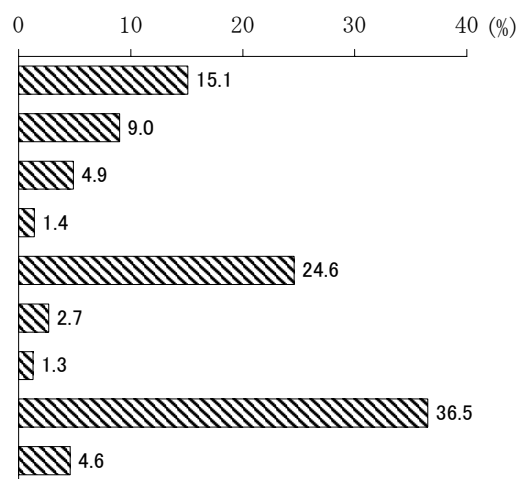
5 具体的な職業内容

		基 数	構成比(%)
家族従業員・ 自営業	1 農林漁業	6	0.8
	2 商工サービス業	52	7.3
	3 自由業	42	5.9
勤め(全日・パート) ・内職の方	4 経営・管理職	71	10.0
	5 専門・技術職	151	21.2
	6 事務職	163	22.9
	7 技能・労務職	71	10.0
	8 販売・サービス職	140	19.6
(無回答)		17	2.4
合 計		713	100.0



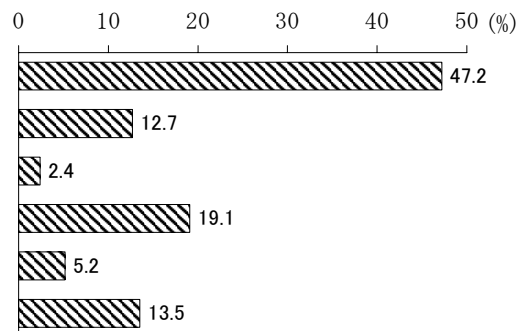
6 勤務先・通学先

	基 数	構成比 (%)
1 川崎市内（お住まいと同じ区）	192	15.1
2 川崎市内（お住まいと別の区）	114	9.0
3 横浜市	62	4.9
4 神奈川県内（川崎市・横浜市以外）	18	1.4
5 東京都（23区内）	312	24.6
6 東京都（23区以外）	34	2.7
7 その他	17	1.3
8 通勤・通学していない	463	36.5
（無回答）	58	4.6
合 計	1,270	100.0



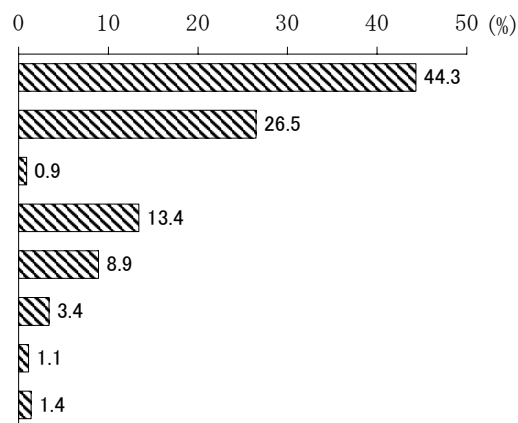
7 駅までの交通手段

	基 数	構成比 (%)
1 徒歩	599	47.2
2 自転車	161	12.7
3 バイク（原付含む）	31	2.4
4 バス	242	19.1
5 自動車（送迎含む）	66	5.2
（無回答）	171	13.5
合 計	1,270	100.0



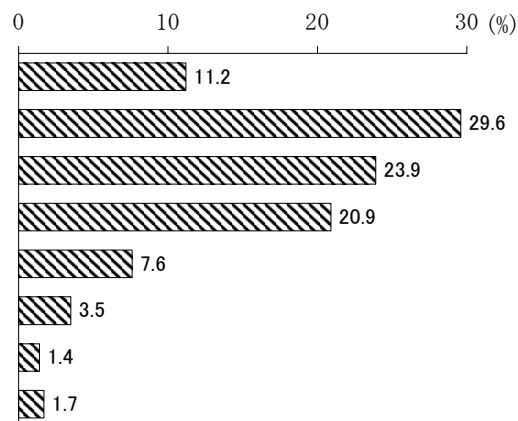
8 住居形態

	基 数	構成比 (%)
1 持ち家（一戸建）	563	44.3
2 持ち家（マンション・団地）	337	26.5
3 借家（一戸建）	12	0.9
4 借家（マンション・団地・公営住宅）	170	13.4
5 借家（民間アパート・間借・下宿）	113	8.9
6 社宅・寮・公務員住宅	43	3.4
7 その他	14	1.1
（無回答）	18	1.4
合 計	1,270	100.0



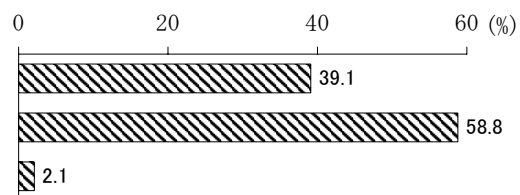
9 家族構成

	基 数	構成比 (%)
1 1人	142	11.2
2 2人	376	29.6
3 3人	304	23.9
4 4人	266	20.9
5 5人	97	7.6
6 6人	45	3.5
7 7人以上	18	1.4
（無回答）	22	1.7
合 計	1,270	100.0



10 65歳以上の方との同居

	基 数	構成比 (%)
1 いる	496	39.1
2 いない	747	58.8
(無回答)	27	2.1
合 計	1,270	100.0



11 地域環境

	基 数	構成比 (%)
1 オフィスビル、商業ビル、商店などがある地域	132	10.4
2 古くからの住宅が中心となっている地域	623	49.1
3 新しく開発された住宅地域	227	17.9
4 住宅と工場が混在している地域	80	6.3
5 まわりに田畑や山林などの森が残されている地域	153	12.0
6 その他	28	2.2
(無回答)	27	2.1
合 計	1,270	100.0

